

## タオル製造工場初の太陽光発電システムを導入 森商事(株)宮ヶ崎工場に 50kW 規模

弊社 森商事株式会社(本社:愛媛県今治市高橋甲 1291-4/代表取締役社長:森 幸夫)は、このたび宮ヶ崎工場(愛媛県今治市宮ヶ崎甲 337-2)にタオル製造工場初の太陽光発電システムを導入しました。

設置規模は 50kW で、同工場使用電力の約 11%が太陽光発電による電力に切り替わります。この設備導入で年 48,641kWh の発電量を生み、15,297kgの二酸化炭素(CO2)排出削減が見込まれます。

弊社は太陽光発電システム導入を通じて、環境に優しいタオルづくりを提案するとともに、広く消費者の皆様、また地域住民の皆様に環境に対する啓蒙活動を行ってまいります。

加えて、弊社は同時にエアジェット式タオル織機に省電力のエア供給システムを導入し、さらに将来的に照明設備を LED に切り替えることで電力消費量の 50%削減を実現し、環境負荷低減に向けた先進的な省エネ工場の実現を目指します。また同時に、企業理念を「ものづくりは創エネへ」とし、ものづくりを通じて地球温暖化防止に努めてまいります。

### ■導入の背景

温室効果ガスによる地球温暖化が今、世界的に大きな社会問題になっています。2005 年 2 月、地球温暖化防止の施策として、京都議定書が発効し、日本は 2008 年～2012 年までの間に、CO2 などの温室効果ガス排出量を 1990 年に比べて 6%削減することが義務付けられました。一方、政府は京都議定書(1997 年 12 月)を実行に移すため、2008 年 7 月 29 日の閣議で「低炭素社会づくり行動計画」を決定しました。

こうした背景の中で、私どもは社会の一員として、また一経営者として企業活動を通じて、地球温暖化対策を模索してまいりました。

また、弊社も四国タオル工業組合の一組合員として地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス 6%」に参加し、温室効果ガス削減に向けた運動を積極的に取り組んでまいりましたが、その運動を前進させるため、国の太陽光発電設備設置事業を活用し、弊社宮ヶ崎工場の屋上に、タオル業界初の太陽光発電システムを導入し、平成 22 年 6 月 24 日試運転を開始しました。

## ■設置場所

愛媛県今治市宮ヶ崎甲 337-2 TEL0898-47-2334



## ■設備の概要

○設置規模 50kW

○推定年間発電量 48,641kWh/年(宮ヶ崎工場使用電力量の約11%に相当)

○設置費用 39,000 千円(うち、国の補助金 12,500 千円予定)

## ■CO2 排出削減効果

15,297kg/年

## ■石油削減効果

11,041 リットル/年(ドラム缶「200 リットル」換算 55 本分/年)

■杉の木植林効果 ※杉の木は二酸化炭素(CO2)を年間年 14kg吸収します

1,092 本/年

## ■乗用車走行距離削減量換算

65097Km/年

参考:省エネ エア供給システム

従来のエアコンプレッサー(圧縮機)を新開発のロータプロフィール(歯形)を搭載した新型エアエンドの省エネコンプレッサーに切り替える(平成22年7月11日実施)ことにより、高い省電力効果を発揮。太陽光発電システム導入等と合わせて50%の省電力実現を目指します。

問合せ先:

森商事株式会社 代表取締役社長 森 幸夫

〒794-0066 愛媛県今治市高橋甲 1291-4

TEL 0898-32-2456 FAX 0898-32-1367